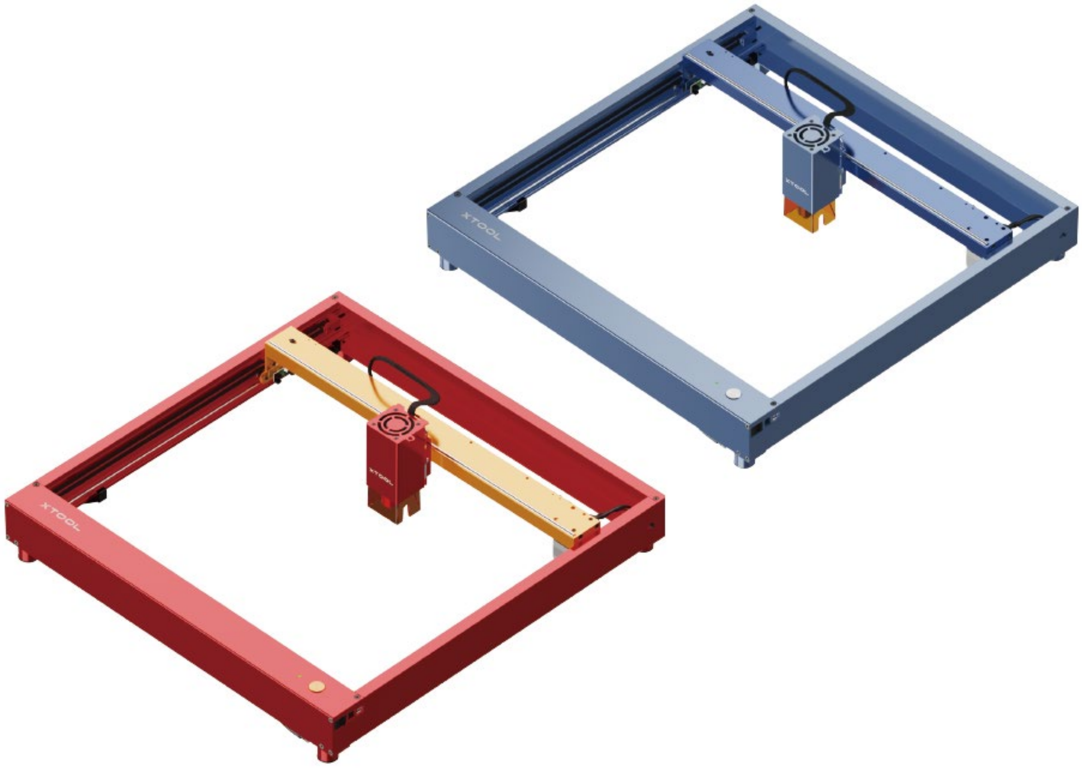
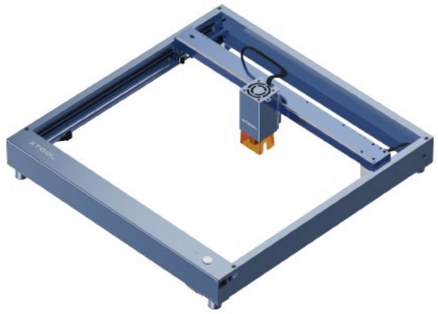
D1 プロ

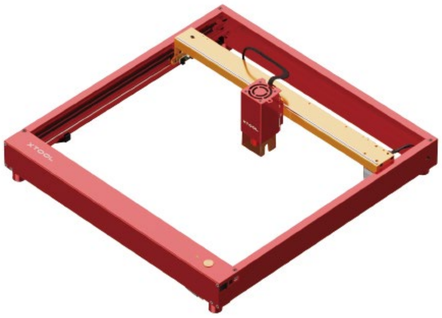
クイックスタートガイド



内容

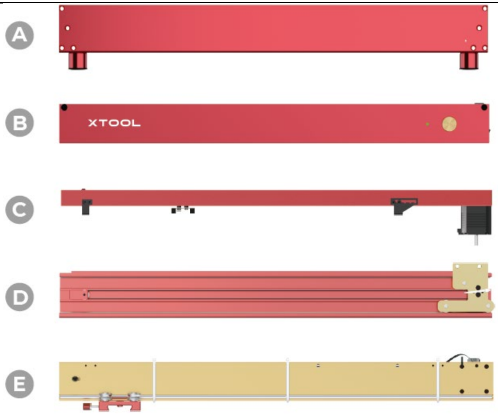
出品リスト 1
xTool D1 Pro の組み立て 3
1.プレートを合わせる 3
2.シャフトをはめ込む 6
3.左プレートのモーターを主制御ボードに接続する。 9
4.ミドルプレートを取り付ける。 11
5.配線を完了する 14
6.レーザーモジュールを取り付ける 16
7.TF カードを取り付ける 19
xTool D1 Pro のご紹介 20
xTool D1 Pro のセットアップ 21
タイミングベルトの張りを調整する...21
レーザーモジュールの位置を設定する 21
ソフトウェアのダウンロードとインストール 24
サンプルプロジェクトで作成する...24
レーザーモジュールのクリーニング 26



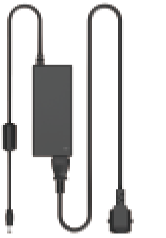
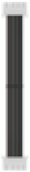


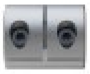
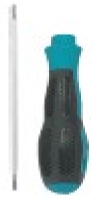
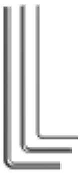
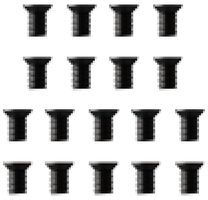
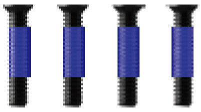
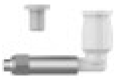
xTool D1 Pro には 2 つのカラーオプションがあります。このクイック・スタート・ガイドでは、ゴールデン・レッドを使用して、マシンの組み立て方とセットアップ方法を説明します。

出品リスト

<table>
<tr><td colspan="2">
</td><td colspan="2">A：リアプレート
B：フロントプレート
C：左プレート
D：右プレート
E：ミドルプレート</td></tr>
<tr><td colspan="2">
シャフト</td><td>

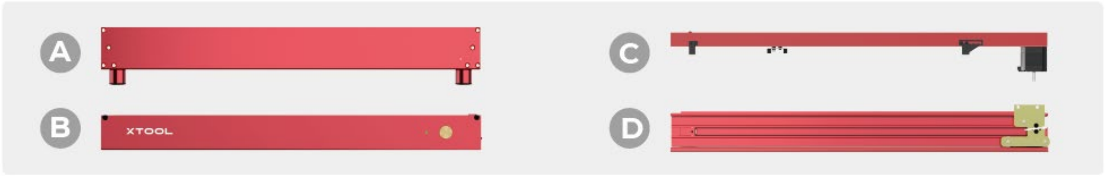
レーザーモジュール</td><td>
安全ゴーグル</td></tr>
<tr><td>

素材パック</td><td>
クイックスタートガイド
取扱説明書/パンフレット</td><td>
アルミシート A4</td><td>
電源アダプター&ケーブル</td></tr>
<tr><td>
USB ケーブル</td><td>
モーターケーブル</td><td>
ケーブルタイパック</td><td>
リミットスイッチ接続ケーブル</td></tr>
</table>

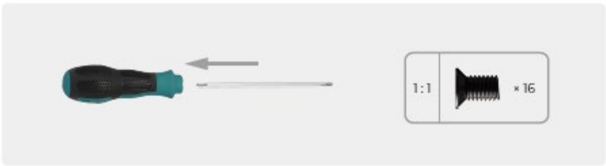
 部品収納ボックス	 TF カード	 カップリング	 ドライバー
 六角レンチ	 ネジ M4*8	 ネジ M4*16	 ネジ M4*25
 ノズルコネクター コンポーネント			

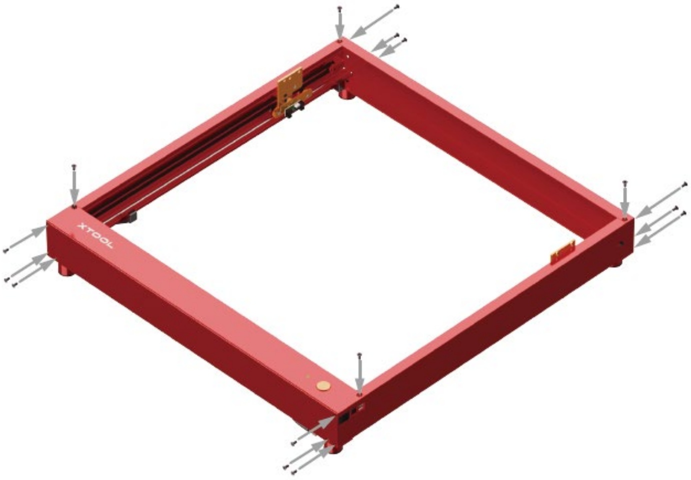
xTool D1 Pro の組み立て

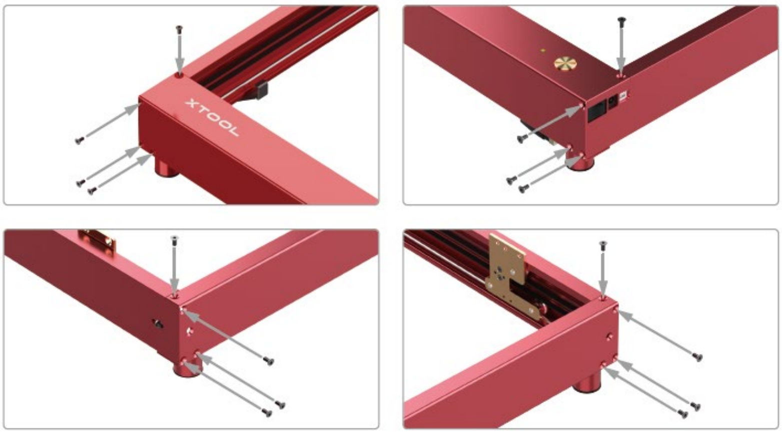
1.プレートを合わせる

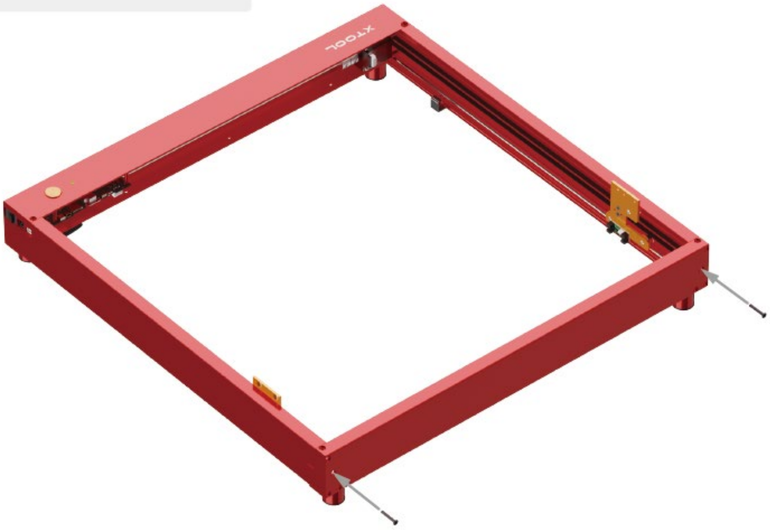


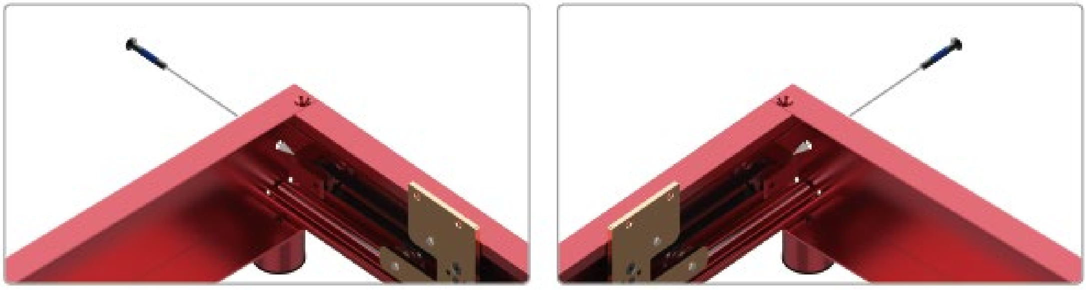
注： ハサミはパックに含まれていません。


1:1
× 16



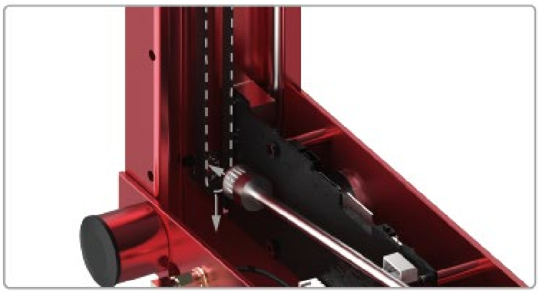


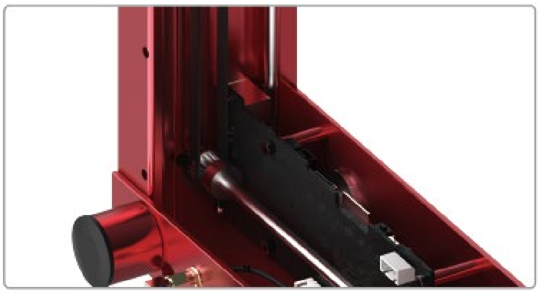




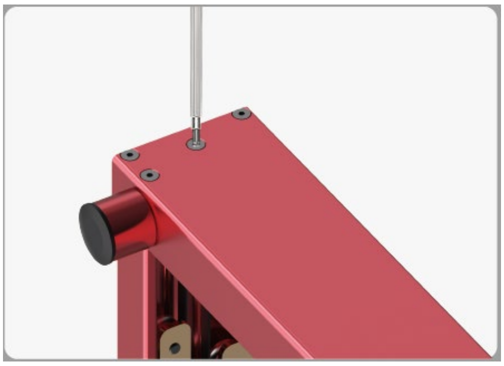
注記： ネジはタイミング・ベルトの張力を設定するため のものです。完全に締め付けないでください。そうしないと、タイミ ング・ベルトが損傷する恐れがあります。

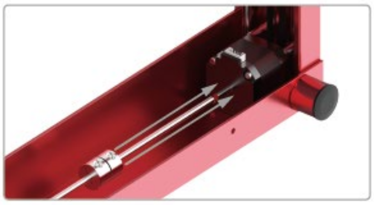
2.シャフトをはめ込む

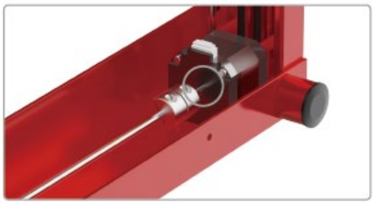




ヒント タイミングベルトにシャフトが通らない場合、タイミングベルトがきつく設定されている可能性があります。ネジを回して張力を調整することができます。

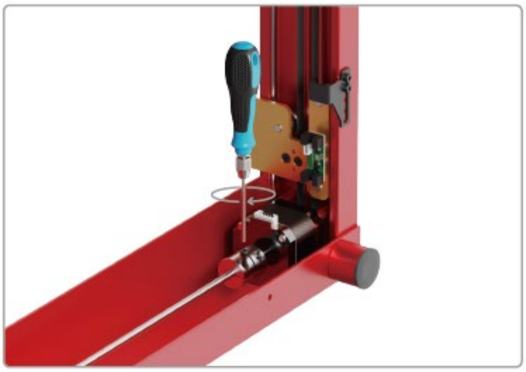






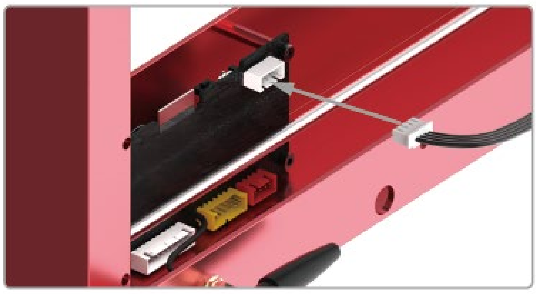
注意：カップリングとモーターとの距離を少し離さないと、カップリングが正しく回転しなかったり、音が出たりします。

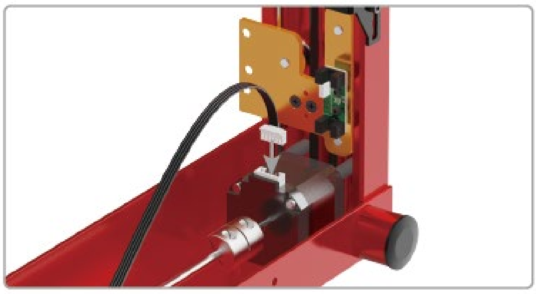
注：2 つのスライダーをフロントプレートに対して下にスライドさせます。



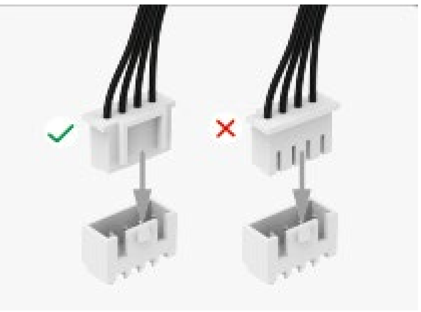
注意：ネジを完全に締めてください。

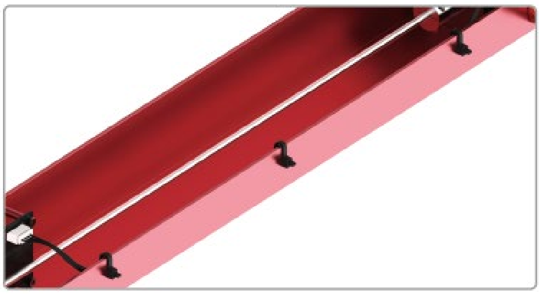
3.左プレートのモーターを主制御ボードに接続する。



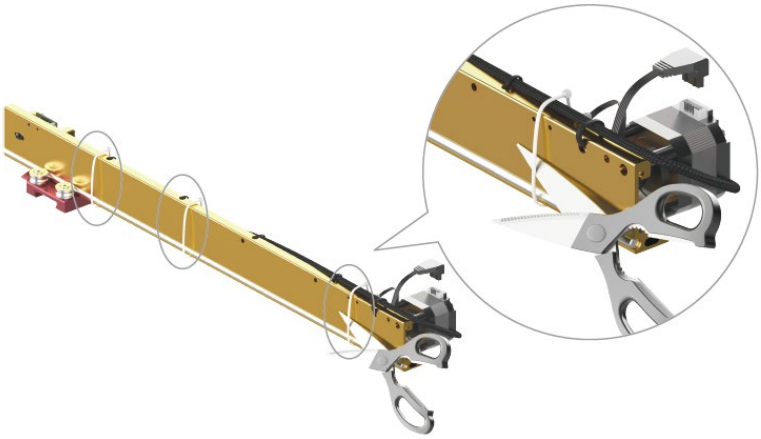


ヒント コネクタの表裏に注意してください。正しく挿入してください。

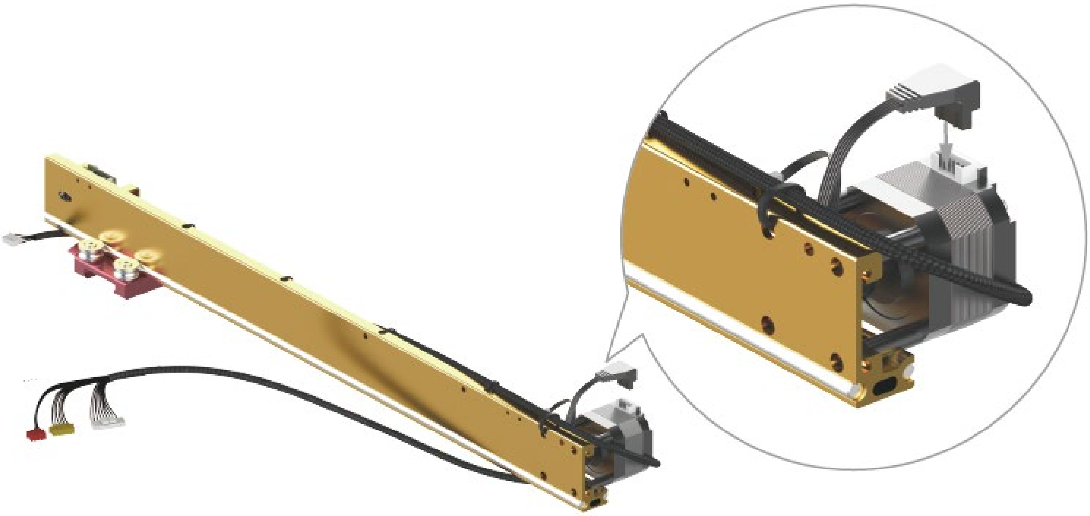


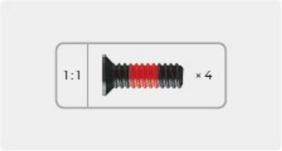


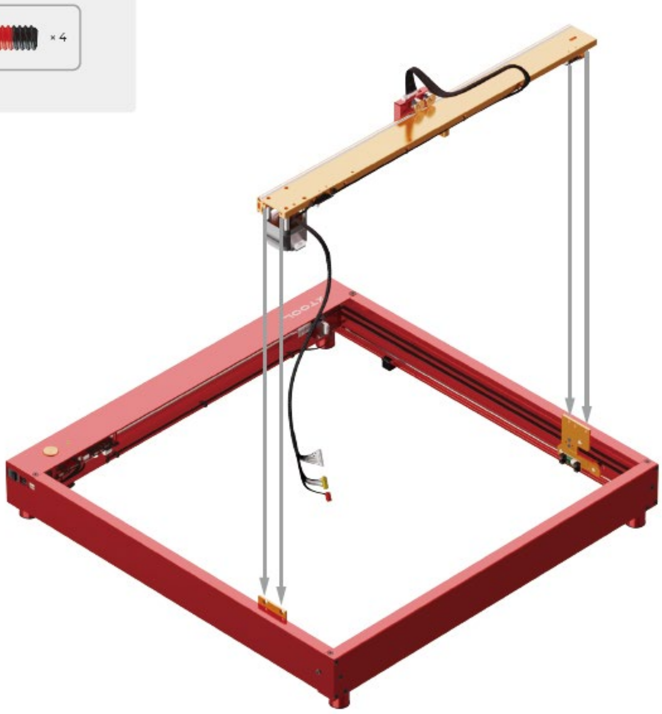
4. ミドルプレートを取り付ける。

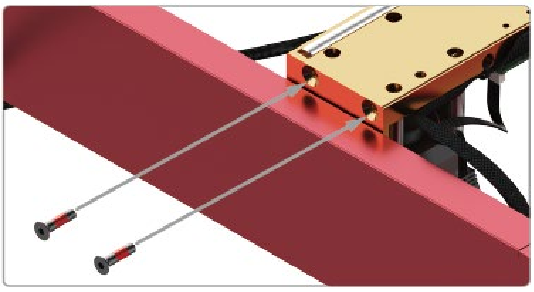


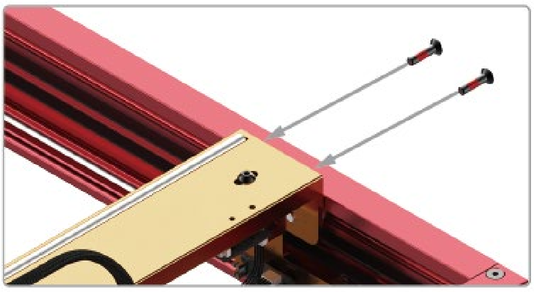
注： 白いケーブルタイは切り落とし、黒いケーブルタイは取っておく。

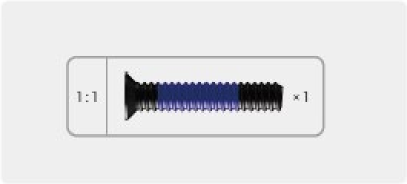


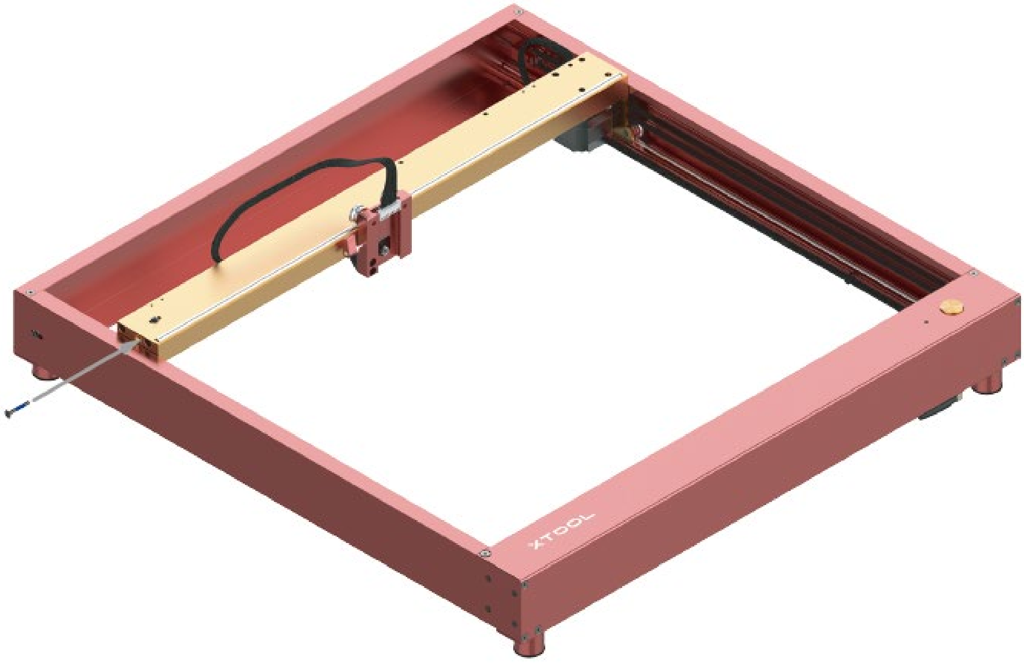

1:1
× 4

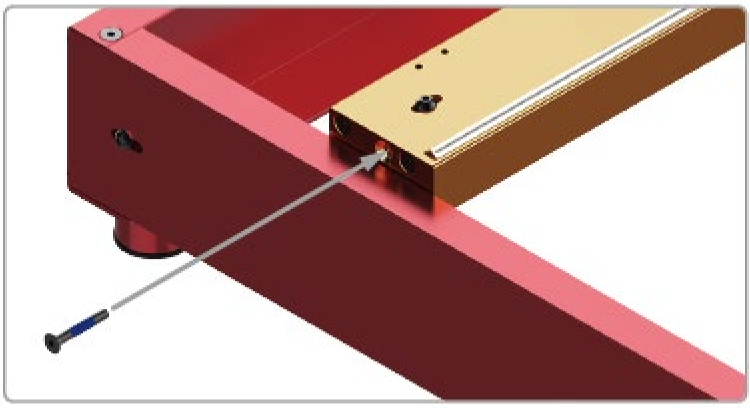






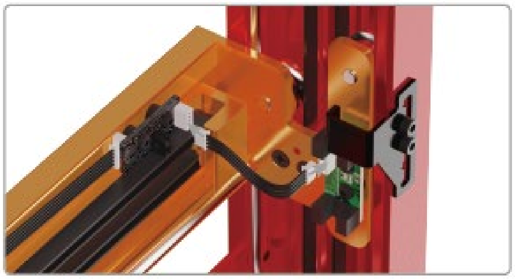


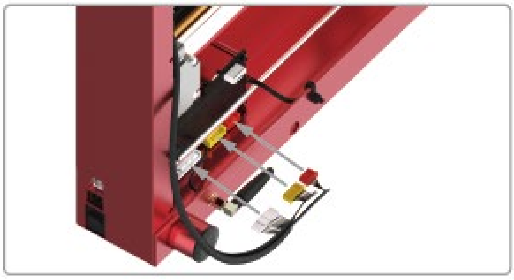


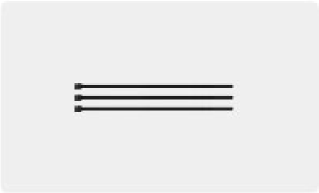


注記： ネジはタイミングベルトの張りを設 定するためのものです。完全に締め付けないでください。そうしないと、タイミ ング・ベルトが損傷する恐れがあります。

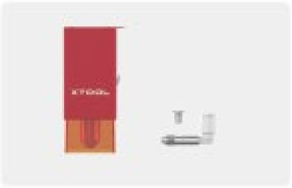
5.配線を完了する

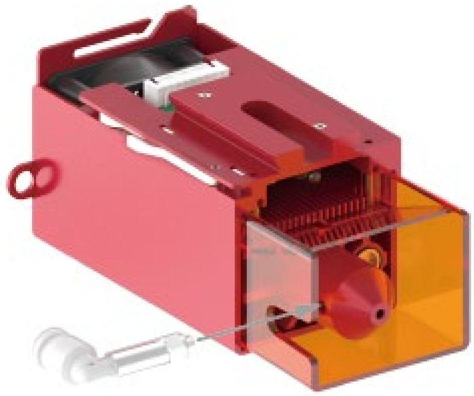


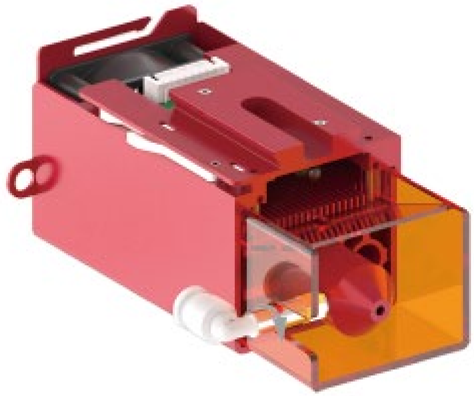


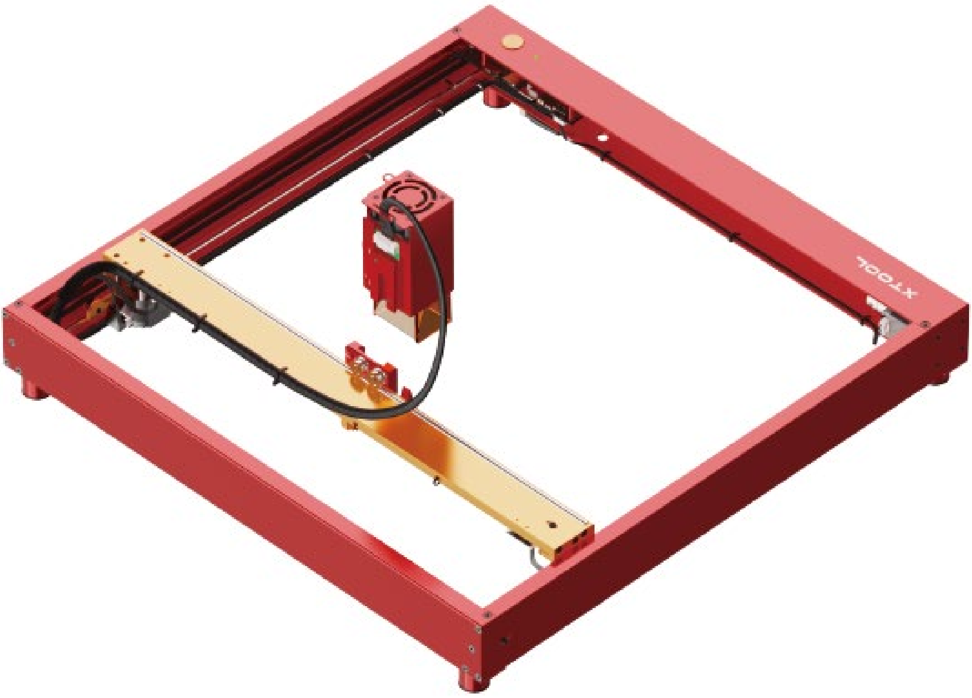


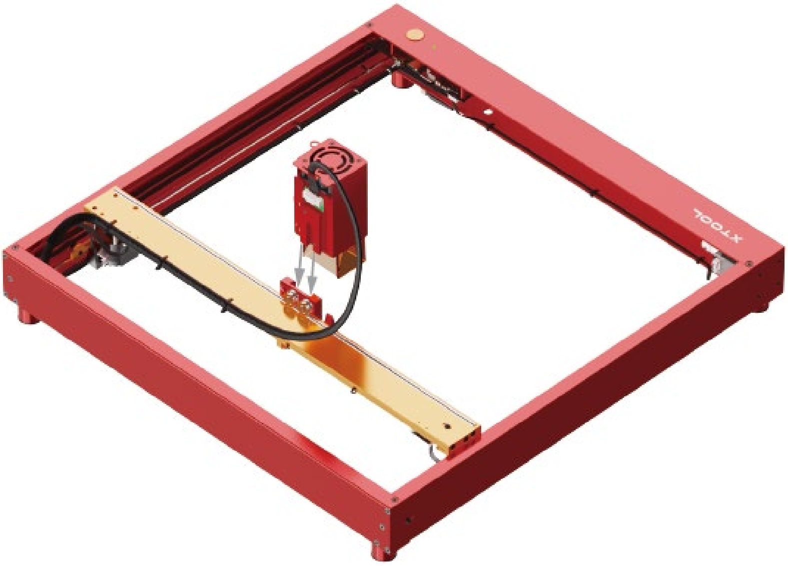
6.レーザーモジュールを取り付ける

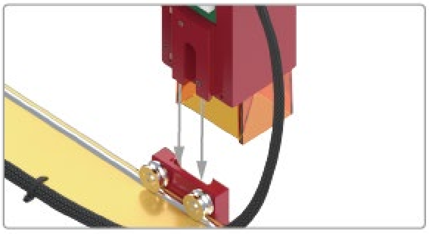




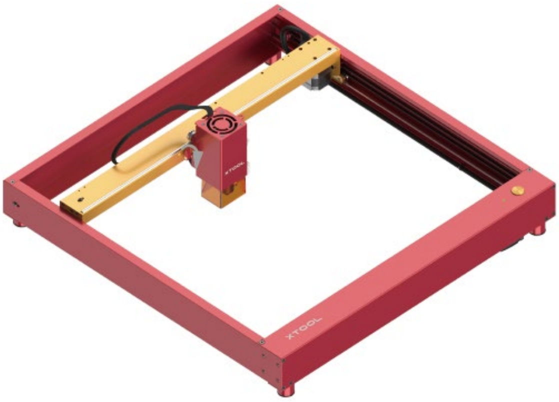




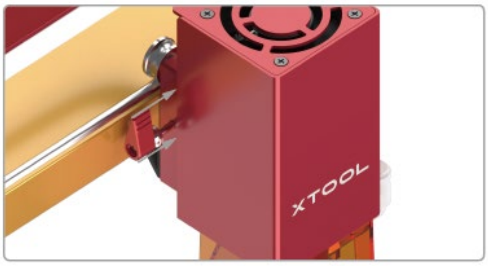




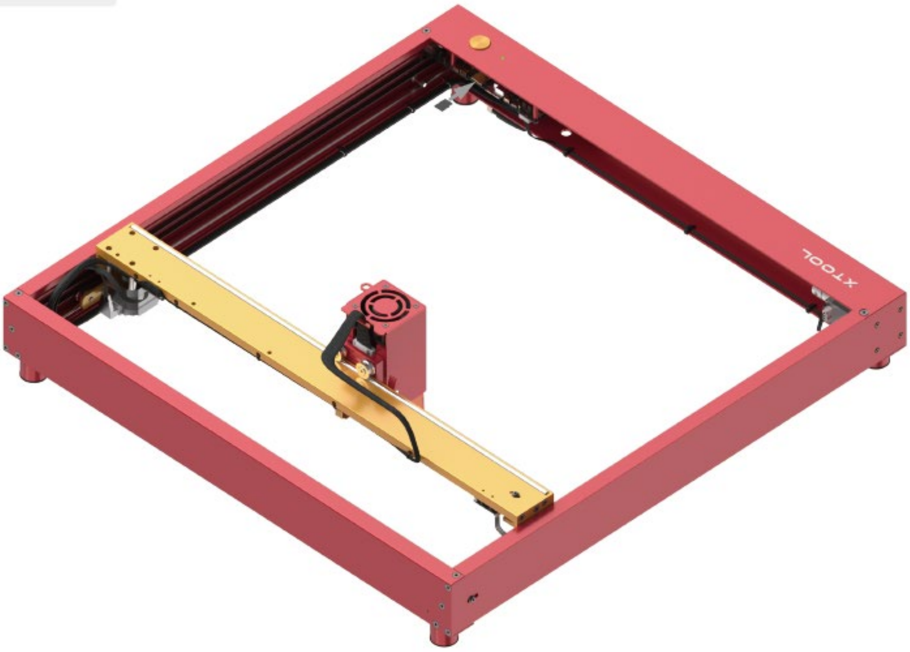
サムスクリューを使ってレーザーモジュールを取り付ける

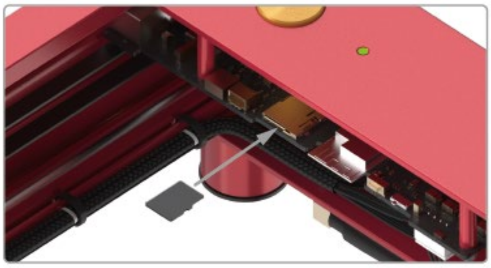


ハンドルを時計回りに回す	ハンドルを持ってネジ部から引き離す。	ハンドルを回して止めるブロックされない

<table>
<tr><td>
ハンドルを離す</td><td>
ハンドルを再び時計回りに回す</td></tr>
<tr><td colspan="2">注：サムスクリューを締めるには、この作業を何度も繰り返す必要があるかもしれません。</td></tr>
</table>

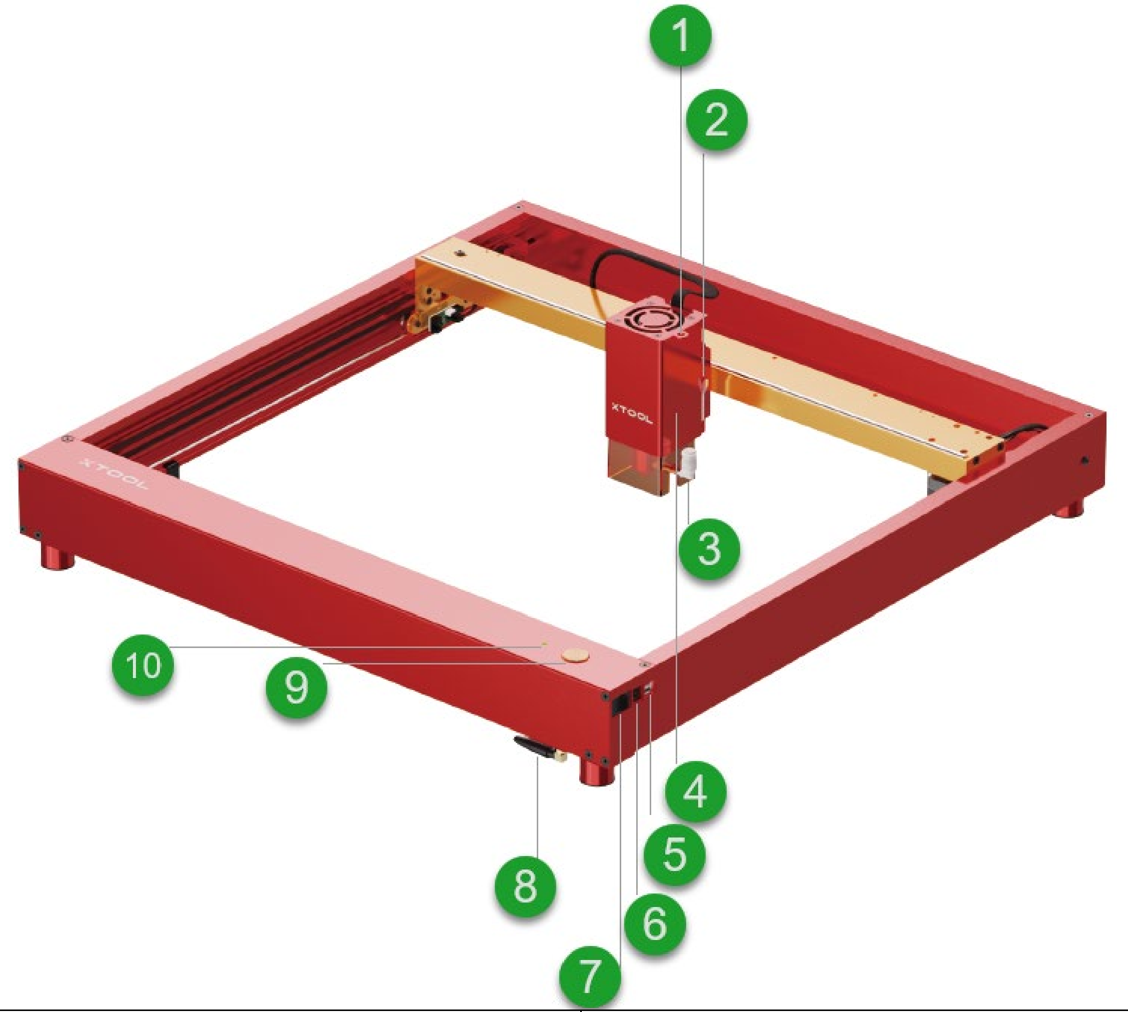
7.TF カードを取り付ける





注意：xTool D1 Pro を使用する前に TF カードを挿入してください。そうしないと、Wi-Fi 接続ベースの処理、オフライン処理、処理プレビューでのフレーミングなど、一部の機能が失敗する可能性があります。

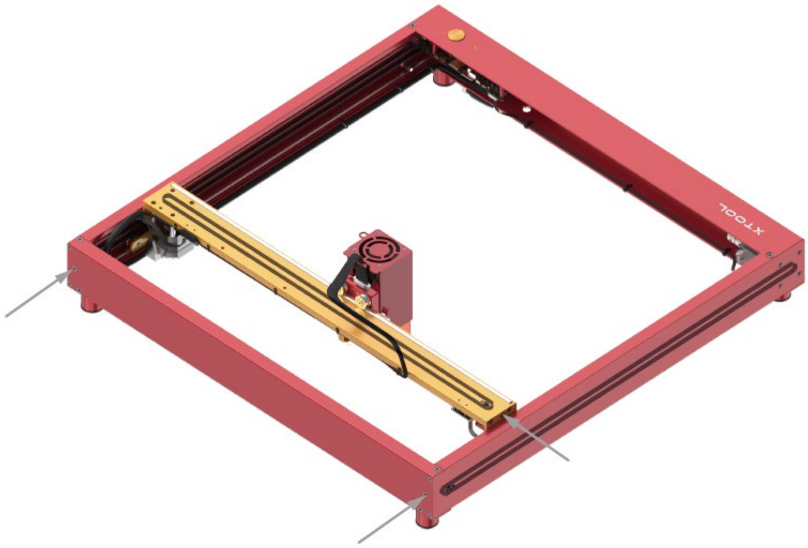
xTool D1 Pro のご紹介

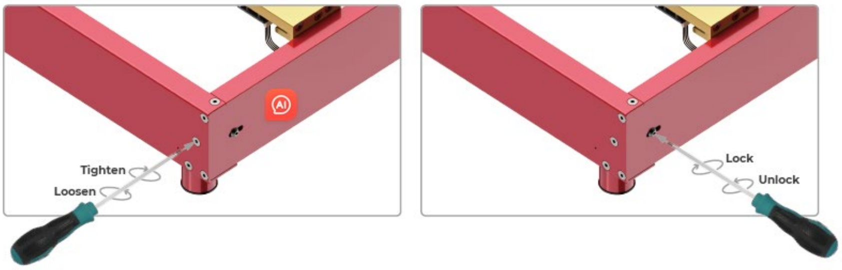


1. 排気管取り付け用の穴 2. 焦点距離設定バー 3. ノズルコネクター 4. レーザーモジュール 5. USB ポート	6. 電源ポート 7. 電源スイッチ 8. Wi-Fi アンテナ 9. ボタン 10. インジケーター

xTool D1 Pro のセットアップ

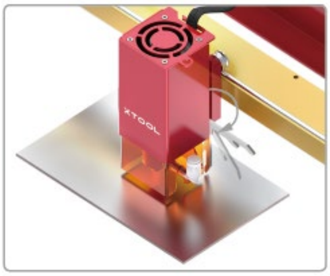
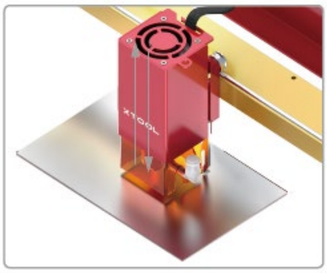
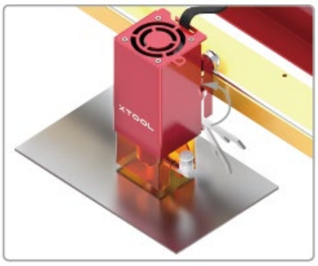
タイミングベルトの張りを調整する





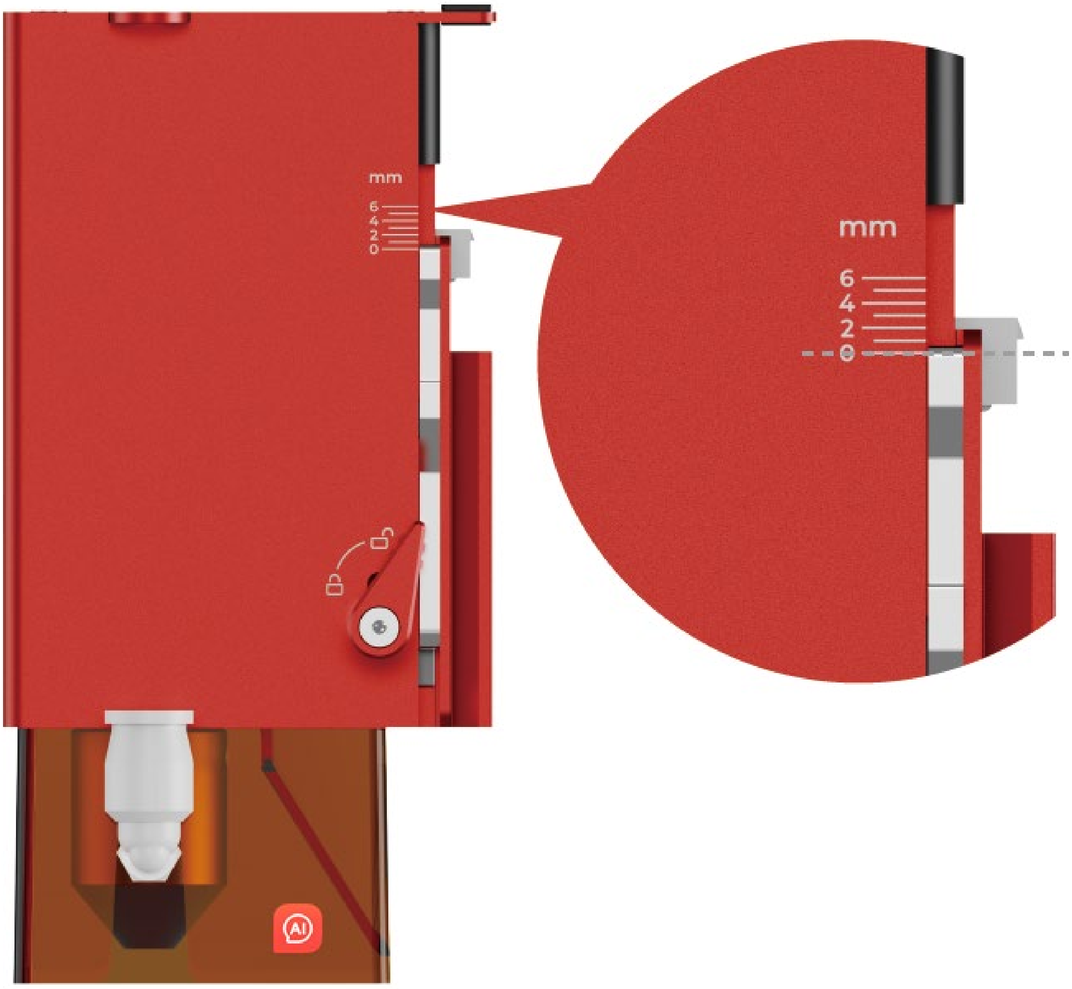
注意：xTool D1 Pro が材料を適切に切断・彫刻できるように、左右のプレートのタイミングベルトを同じ張力に設定してください。

レーザーモジュールの位置を設定する

		
焦点距離設定バーを下に置く	反対側のつまみネジを緩め、レーザーモジュールを上方または下方にスライドさせます。	位置が決まったら、蝶ネジを締め、焦点距離設定バーを戻します。

ヒント 厚い材料を切断する場合は、焦点距離設定バーの目盛りに基づいて、レーザーモジュール上のリアプレートの位置を調整することで、より優れた切断性能を確保できます。

20W レーザーモジュールの場合



厚さ	スケール	デフォルトでは、焦点距離設定バーは目盛り 0 に合わせてあります。処理する材料の厚さに応じて、背面プレートの位置を調整することをお勧めします。
8 mm	2	
10 mm	3	

リアプレートの位置を調整した後も、焦点距離設定バーでレーザーモジュールの位置を設定することができます。

40W レーザーモジュールの場合

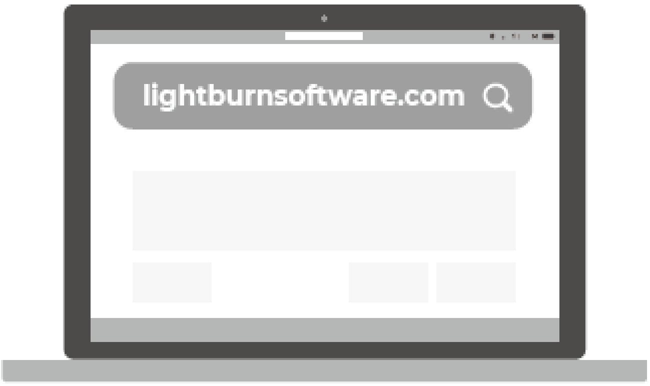
厚さ	スケール
15 mm	3

ヒント 設定値は実験室環境でテストされたものであり、参考値です。設定は素材によって異なる場合がありますので、加工を開始する前に素材をテストすることをお勧めします。

ソフトウェアのダウンロードとインストール

xTool Creative Space (XCS)ソフトウェアは、公式サイト jp.xtool.com から無料でダウンロードするか、サードパーティ製ソフトウェア LightBurn を購入して xTool D1 Pro を操作することができます。

xTool Creative Space

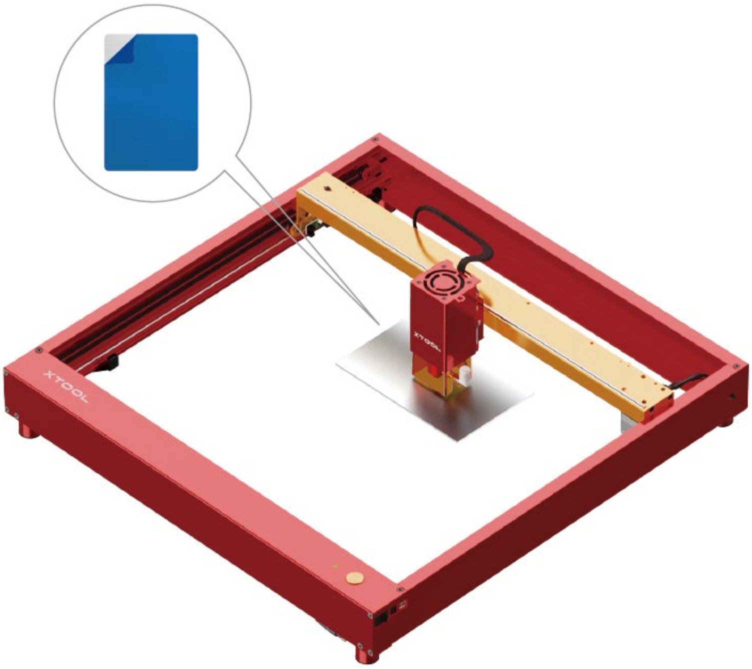


サンプルプロジェクトで作成する

ヒント 創作を始める前に、材料の無駄を防ぐため、まずパラメータ設定と彫刻性能をテストすることをお勧めします。
例えば、素材の端に近い部分に彫刻して、彫刻の性能を見ることができます。貴重品の場合は特に、テストのために代用品に彫刻することができます。

	xTool D1 Pro には、以下のような素材パックが付属しています。 をクリックして創作を開始します。 QR コードをスキャンして、サンプル プロジェクトとチュートリアルを見つけます。 または、xTool Creative Space (XCS) で [サポート] をクリックし、[xTool D1 Pro] > [xTool D1 Pro サンプル プロジェクト ファイルとチュートリアル] を選択することもできます。サンプル プロジェクトをダウンロードし、指示に従って最初の作品を作成することができます。

作品を作る前に、xTool D1 Pro の作業エリアにアルミシートを敷いておけば、机や床を煙や火傷から守ることができます。

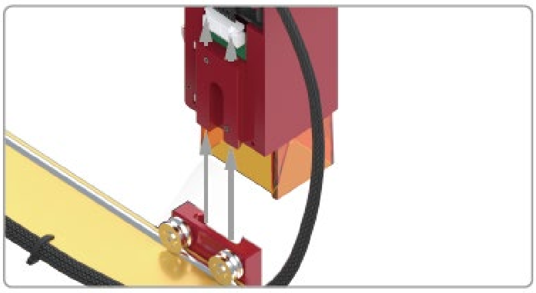


ヒント フィルム剥がしでアルミシートが平らにならない場合は、マスキングテープで机や床に貼り付けることができる。

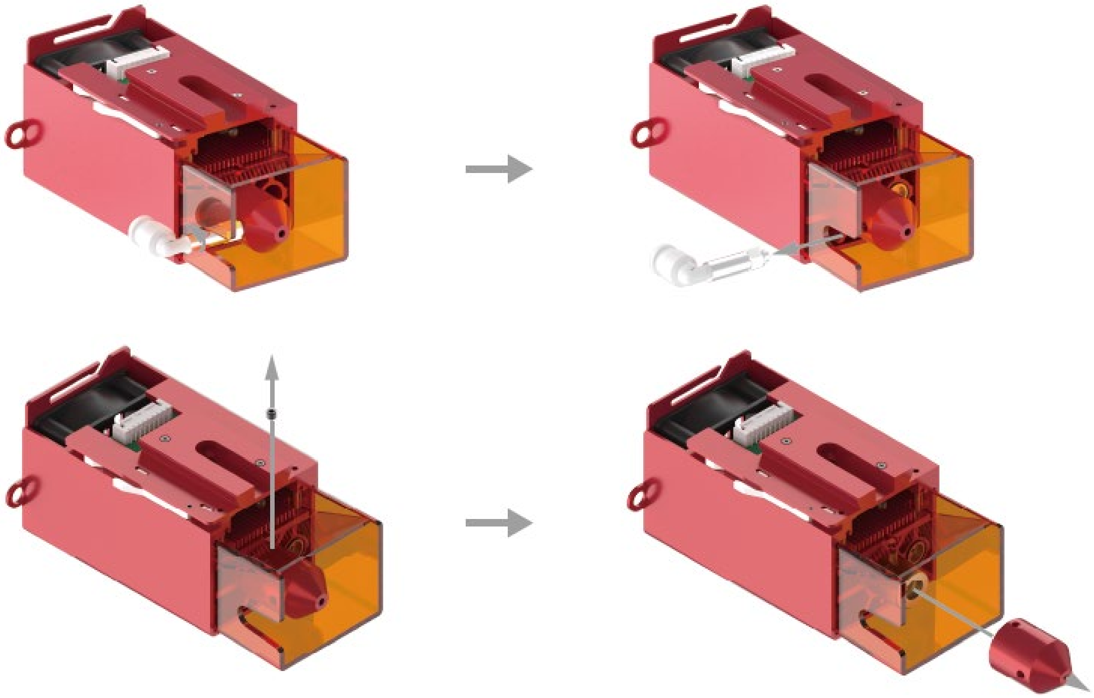
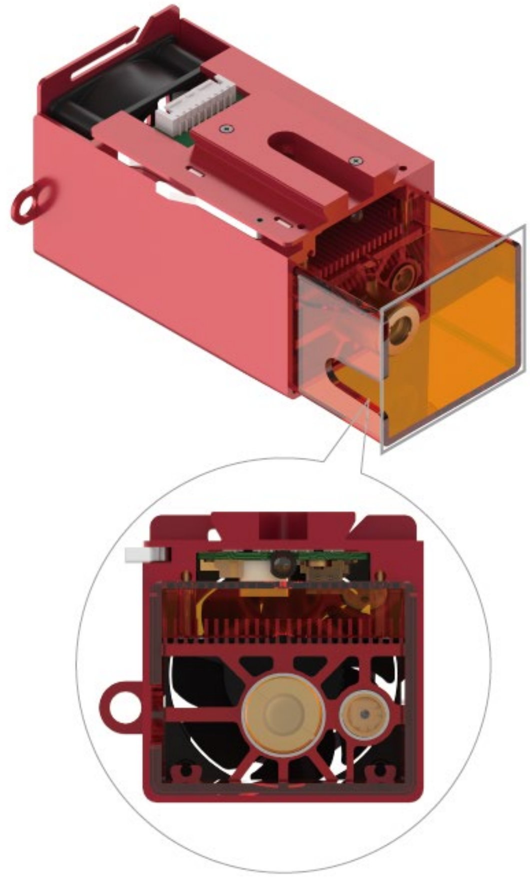
レーザーモジュールのクリーニング

ヒント 20W レーザーモジュールの場合、連続 1 時間使用した後は、遮光板の内側と外側のフレーム、レンズ、赤色光出口を含め、毎回クリーニングすることをお勧めします。遮光板が汚れていたり、レーザービームが材料をカットできない場合は、レーザーモジュールをクリーニングする必要があります。

1. 装置の電源を切り、レーザーモジュールを装置から取り外します。



2. レーザーモジュールからノズルとそのコネクタを取り外します。



3. 遮光板の内枠と外枠は、アルコールを含ませたティッシュやほこりのない布で拭き、レンズと赤色光照射口は、アルコールを含ませた綿棒で拭きます。